

総評、コメント(逐次通訳で10分)

日本貿易振興機構(ジェトロ)タシケント事務所の芝元英一と申します。
このような重要なフォーラムでジェトロを代表しコメントさせていただきますことを
光栄に存じます。この場を借りて準備に携わられた両国の関係者の皆様に感謝申し上げ
ます。

さて、最近(2007年)のキルギス共和国をはじめ中央アジア諸国と日本との関係を
貿易面でみますと、まだ中央アジア5カ国で日本の貿易総額の0.1%に満たない状況に
留まっております。しかし、それはそれだけ今後可能性を秘めた地域であるというこ
とができると思います。

可能性として考えられるものは2点あります。

一つ目は資源の開発です。中央アジアは資源の宝庫として日本にも知られつつありま
すが、今回エシナザロフ氏からご説明いただきましたようにキルギスも希少金属その他
の鉱物資源を豊富に有する国であると承知しております。

二つ目は小嶋室長がご指摘されましたが、物流拠点としての可能性です。中央アジア
はロシア、中国、インドなど、目下、金融危機の影響を受けているとはいえ、近年、経
済発展が目覚ましく、今後の成長も期待されている国々に囲まれた地域です。中央アジ
アを取り巻く国々や世界の政治経済情勢の安定化と発展が前提とはなりますが、キルギ
ス共和国を含むこの地域が物流面で重要な役割を果たす可能性があります。

ただし、この可能性を実現するには、道路、鉄道などのインフラのみならず通関業務
その他の手続き面でも共通化を図っていただくなど中央アジア諸国が相互に具体的な
協力の可能性を探ることも不可欠といえましょう。

ジェトロとしては、日本と中央アジア諸国の貿易投資の促進に協力する日本の政府関
係機関として可能な限りのご協力をさせていただきます。

本日、(ご提案のありました)日本キルギス投資環境整備ネットワークにつきましてはジ
ェトロのウェブサイトでご紹介する情報を提供することを通じてご協力ができるもの
と考えます。

このほか、キルギスには残念ながら事務所を置いておりませんが、ジェトロがキルギ
スも含め中央アジアの事業を行う場合にはタシケント事務所がご協力させていただきます。

日本キルギス・ビジネスオーラム(2009年2月25日)
セッション2

本日は、キルギス共和国からは豊富な資源の開発状況や IT 産業の発展状況、投資環境、外国投資の誘致の可能性について、日本からは両国間のビジネス発展に対する協力の可能性について、両国の企業及び関係機関の方々からご説明をいただいております。

本日のフォーラムで提供された情報を関係者各位がキルギス共和国を含めた中央アジア諸国の発展に役立たせることを願い、また、ジェトロとしても可能な限りのご協力をさせていただくことを申し上げて私のコメントとさせていただきます。

以上